

教育・保育課程

ちゅうりっぷ認定こども園

教育・保育理念 (事業運営委方針)	○思いやり、いたわり、感謝の心を養い、基本的なしつけや社会習慣が身に付く。(子の育ち) ○誰もが安心して子育てができる場をつくり、地域コミュニケーションの場となる。(育ちの場をつくる) ○多様な価値観の中でお互いを認め合う。(親の育ち)						
教育・保育方針	①野外で自然にふれながら活動を楽しませ、元気で丈夫な身体をつくる。 ②子どもの発達段階に応じて、生活体験を通して、最後までやり遂げる意思を育てる。 ③遊びや集団生活を通じて「思いやりの心」「いたわる心」を養い、「基本的な嫉」「社会習慣」を身に付ける。 ④四季折々の食物の成長から自然の成り立ちを理解し、食物を育てる人々の心につれ、「感謝の心」を育ませる。						
教育・保育目標	1. 心身ともに健康な子ども 2. ものを考え創り出す子ども 3. 思いやりのある子ども 4. 人の喜びを喜ぶことができ、感謝する子ども						
	社会的責任	人権尊重	説明責任	情報保護	苦情処理・解決		
	○認定こども園法・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく児童福祉施設として、児童・保護者・地域に対し、認定こども園の役割を確実に果たす。 ○職員は公私を問わず成熟した社会人であることを心がける。	○基本的人権を尊重する。 ○児童の最善の利益を考慮する。 ○児童を個人として尊重する。 ○保護者もまた個人として尊重する。 ○職員の生活権を保障する。	○保護者や地域社会に対して、当園の理念・方針や教育・保育活動の目的・計画を、多様な手段を用いて説明する。 ○日々の児童の様子や活動の内容を、多様な手段を用いて説明する。	○児童福祉の精神に基づいた教育・保育事業を遂行するため、取得した名前・生年月日・健康状態等の個人情報等を、当園の教育・保育方針の範囲内で利用することができる。	○苦情解決責任者である園長のもとに、第三者委員を含めた苦情解決処理委員会を設置する。 ○苦情解決処理委員会の内容について、利用者全てに周知する。		
☆発達過程	0～5歳児の年齢別6クラス編成、3～5歳児クラスの縦割り教育・保育を計画的に実施。 幼保連携型認定こども園教育・保育要領及び当園の理念、教育・保育方針、教育・保育目標、発達視診に基づき、年間指導計画を作成。 子ども一人ひとりの発達を踏まえて、養護と教育が一体となった教育・保育を展開する。			☆主な行事 入園式、卒園式、始業式、終業式、終了式、誕生会、納涼祭、運動会、生活発表会、お別れ会、英語、音楽リトミック、運動あそび(HSJ)、春の親子遠足(3、4、5歳児)、秋の遠足(3、4歳児)、園外保育(5歳児)、七夕の会、芋掘り、りんご狩り、クリスマス会、カルタ会、お楽しみ会、節分の会、ひなまつり会			
年齢別保育目標	0歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかりした人間関係をつくる。 ・五感覚を育てる。 ・快い生活リズムを獲得して、快・不快を感じる(よく食べ、よく眠る) ・しっかりした歩行に向かう。 		3歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びや身近な生活体験を通して、仲間との関係を育てる。 ・基本的な生活習慣の自立に向かう。 ・身体全体を使って活発に遊ぶ。 ・自分の要求や思いを、言葉や行動で表現する。 		
	1歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した人間関係の中で一人遊びを十分に作る。 ・豊かな経験を通して言葉を獲得する。 ・快い生活リズムを獲得して、基本的な生活習慣を獲得しようとする。 ・歩行の確立に向けて意欲的に活動する。 		4歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間と共に遊び生活する中で、自立の方向に向かう。 ・進んでいろいろな運動や製作に取り組み、できた喜びを持つ。 ・手先、足先を使った動きを十分にやり、しっかり使えるようになる。 ・自分の思いや考えを言葉に出して相手に伝えられるとともに、想像の世界を豊かにしていく。 		
	2歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・友達への関心が十分に育ち、つながりを持つようになる。 ・いろいろと経験した中で、言葉で表現する喜びを味わう。 ・基本的な生活習慣が快い感覚として身に着くようになる。 ・基本的な運動機能を獲得していき(歩く、走る、飛び降りる、よじ登る、渡る、ぶら下がる、両足跳びなど) 		5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間同士影響し合う中で、集団が育っていく。 ・経験をもとにして、次の目標に向かって自分の力を出し切る。 ・全身運動もより滑らかに、細かい手や指の動きができるようになる。 ・イメージを豊かに持ち、それを表現する(言葉、絵など) 		
保育の内容							
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
養護	生命の保持	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の子どもの生活のリズムを重視して、食欲、睡眠、排泄等の生活的要求を満たし、生命の保持と生活の安定を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の子どもの状態に応じて、睡眠など適切な休息を取るようし、快適に過ごせるようにする。 ・安心できる保育教諭との関係の下で、食事、排泄などの活動を通して、自分でしようとする気持ちが芽生える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・午睡など適切に休息の機会をつくり、心身の疲れを癒して、集団生活による緊張を緩和する。 ・安心できる保育教諭との関係の下で、食事、排泄などの簡単な身の回りの活動を自分でしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・午睡など適切な休息をとらせ、心身の疲れを癒し、集団生活による緊張を緩和する。 ・生活に必要な基本的な習慣が身につくようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・午睡など適切な休息をとらせ、心身の疲れを癒し、集団生活による緊張を緩和する。 ・自分でできることに喜びを持ちながら、健康、安全など生活に必要な基本的な習慣を次第に身につける。 	
	情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の子どもの状態に応じて、スキンシップを十分にとりながら心身と共に快適な状態をつくり、情緒の安定を図る。 ・一人一人の子どもの甘えなどの依存要求を満たし、情緒の安定を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の子どもの生理的欲求や甘えなどの依存欲求を見だし、生命の保持と情緒の安定を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の子どもの欲求を十分に満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の子どもの欲求を十分に満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。 ・身近な動植物や自然現象に親しみ、自然に触れ十分に遊ぶことを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の子どもの欲求を十分に満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。 ・身近な動植物に親しみ、それらに関心や愛情を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の子どもの欲求を十分に満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。
教育	健康	<ul style="list-style-type: none"> ・保健的で安全な環境をつくり、常に体の状態を細かく観察し、疾病や以上は早く発見し、快適に生活できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健的で安全な環境をつくり、体の状態を観察し、快適に生活できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健的で安全な環境をつくり、快適に生活できるようにする。 ・保育教諭と一緒に全身や手や指を使う遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健的で安全な環境をつくり、快適に生活できるようにする。 ・外遊びを十分にするなど、遊びの中で体を動かす楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健的で安全な環境をつくり、快適に生活できるようにする。 ・身近な遊具や用具を使い、十分に体を動かして遊びを楽しむ。 ・安全や危険の意味やきまりが分かり、危険を避けて行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健的で安全な環境をつくり、快適に生活できるようにする。 ・安全に必要な基本的な習慣や態度を身につけ、そのわけを理解して行動する。 ・様々な遊具や用具を使い、複雑な運動や集団遊びを通して体を動かすことを楽しむ。
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・安心できる人的、物的環境のもとで、聞く、見る、触れるなどの感覚の働きが豊かになるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心できる保育教諭や見守りの中で、身の回りの大人や子どもに関心を持ち関わろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りに様々な人がいることを知り、徐々に友だちと関わって遊ぶ楽しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な人と関わり、友達と遊ぶことを楽しむ。 ・保育教諭や友達の言うことを理解しようとする。 ・友達とのつながりを広げ、集団で活動することを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周りの人々に対する親しみを深め、集団の中で自己主張したり、また、人の立場を考えながら行動する。 ・異なる年齢の子どもに関心を持ち、関わりを広める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な人との関わりの中で、人の立場を理解して行動し、進んで集団での活動に参加する。 ・進んで異なる年齢の子どもたちと関わり、生活や遊びなどで役割を分担する楽しさを味わう。
	環境	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で活動しやすい環境の中で、寝返りや腹ばいなど運動的な活動を促す。 ・姿勢を変えたり、移動したり様々な身体活動を十分にできるように、安全で活動しやすい環境を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で活動しやすい環境の中で、自由に体を動かすことを楽しむ。 ・絵本、玩具などに興味を持って、それらを使った遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのものや親しみの持てる小動物や植物を見たり、触れたり、保育教諭から話を聞いたりして興味や関心を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な環境に興味を持ち、自分から関わり生活を広げていく。 ・身近な社会事象に親しみ、模倣したりして遊ぶことを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの人々の生活に親しみ、身近な社会の自稱に関心を持つ。 ・身近な環境に興味を持ち、自分から関わり、身の回りの事物や数、量、形などに関心を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な社会や自然の環境と触れ合う中で、自分達の生活との関係に気づき、それを取り入れて遊ぶ。 ・日常生活に必要な事物を見たり、扱ったりなどして、その性質や存在に興味を持ったり、数、量、形などへの関心を深める。
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・笑ったり、泣いたりする子どもの状態にやさしく応え、発生に回答しながら喃語を育む。 ・優しく語りかけたり、発生や喃語に回答したりして、発語の意欲を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育教諭の話しかけや、発語が促されたりすることにより、言葉を使うことを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育教諭を仲立ちとして、生活や遊びの中で言葉のやりとりを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に必要な言葉がある程度分かり、したいことを、してほしいことを言葉で表す。 ・絵本、童話、視聴覚教材などを見たり聞いたりして、その内容や面白さを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人の話を聞いたり、自分の経験したことや思っていることを話したりして、言葉で伝える楽しさを味わう。 ・絵本、童話、視聴覚教材などを見たり聞いたりして、イメージを広げ、言葉を豊かにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な機会や場で活発に話したり、聞いたりして、生活の中で適切に言葉を使う。 ・自分の経験したこと、考えた事などを適切な言葉で表現し、相手と伝えあう楽しさを味わう。 ・人と話し合うことや、身近な文字に関心を深め、読んだりすることの楽しさを味わう。
	表現	<ul style="list-style-type: none"> ・聞く、見る、触るなどの経験を通して、感覚や手や指の機能を働かそうとする。 ・絵本や玩具、身近な生活用具が用意された中で、身の回りのものに対する興味や好奇心が芽生える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの様々なものを自由にいじって遊び、外界に対する好奇心や関心を持つ。 ・身近な音楽に親しみ、それに合わせた体の動きを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育教諭と一緒に人や動物などの模倣をしたり、経験したことを思い浮かべたりして、ごっこ遊びを楽しむ。 ・興味のあることや経験したことなどを生活や遊びの中で、保育教諭とともに好きなように表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なものを見たり触れたりして、面白さ・美しさなどに気づく。 ・感じた事や思ったことを描いたり、歌ったり、体を動かしたりして、自由に表現しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な事物などに関心を持ち、それらの面白さ、不思議さ、美しさなどに気づく。 ・感じた事や思ったこと、想像したことなどを様々な方法で自由に表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な社会や自然事象への関心を深め、美しさ、やさしさ、尊さなどに対する感覚を豊かにする。 ・感じた事や思ったこと、想像したことなどを自由に工夫して、表現する。
	食育	<ul style="list-style-type: none"> ・個人差に応じて授乳を行い、離乳を進めて、健やかな発育・発達を促す。 ・離乳を進め、様々な食品に慣れさせながら、幼児食への移行を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な食品や調理形態に慣れ、楽しい雰囲気のもとで食べることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しんで食事、間食をとることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に食事をしたり、様々な食べ物を食べる楽しさを味わうようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事をするこの意味が分かり、楽しんで食事や間食をとるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ多くの種類の食べ物を摂り、楽しんで食事や間食をする。
健康支援	内科検診・耳鼻科検診・眼科検診(年2回) 身体測定(毎月) 歯科検診(年2回) 尿検査(3歳児以上 年1回) 日々の健康状態の視診 家庭での健康状態の把握 薄着の奨励 食育の推進(和食中心、薄味、無添加未加工の食材) 保健指導(手洗い、歯磨き、うがい) 年間保健計画の作成 保健だより・給食だよりの発行 感染症の発生及び対応についての掲示 フッ素洗口(4、5歳児)						
環境・衛生管理	室内・園庭・周辺道路の清掃 0歳児玩具の洗浄・消毒 職員検便(調理・食事介助担当者 毎月) 砂場の消毒(年2回) 遊具消毒(週1回) ぎょう虫検査(年2回) 個別ハンカチ(3～5歳児) ペーパータオル(0、1歳児・職員) ポンプ式泡石鹸 酸性水常備(全クラス)						
安全対策・事故防止	避難・消火訓練(火災・地震 毎月) 交通安全指導(毎月) 消防設備点検(年2回) 園庭遊具・施設設備安全点検 救命救急講習会(年1回) 事故報告書、ヒヤリハットの作成						
保護者、地域等への支援	保護者会(各クラス年3回程度) 保育参観(適宜) 母親保育参加・父親保育参加 個別懇談(適宜) 連絡帳による情報交換(0～2歳児:毎日 3～5歳児:週1回) 園だより、クラスだよりの発行 地域育児相談(随時) 子育て支援センター(プレママ・プレパパ) 親子給食体験(3歳児) 年長児地域交流(夜高あんどん作り、鮎のつかみ取り、さつまいも堀り等) 実習生・中高生職場体験・ボランティアの受け入れ						
研修計画	園内研修(保育教諭、看護師) 県主催研修(園長、主幹保育教諭、新人保育教諭) 乳児・障害児育児相談研修 民間保育所連盟研修 全国、県社会福祉協議会研修 砺波市学校保健部会 GT富山研修						
小学校との連携	幼保連携型認定こども園園児指導要録の送付(年長児全員) 就学支援シートの作成(保護者より要請があった場合のみ) 出町小学校2年生との交流会(年1回、半日) 就学児検診・半日入学(5歳児、年1回) 各学校公開・運動会・発表会の観覧						
自己評価	施設理念、保育方針、教育・保育課程の理解 保育教諭の評価(自己評価表の実施)						